

平成 25 年度第 6 回青森市子ども会議開催概要 ＜思いやりグループ「チーム希望ガールズ」③＞

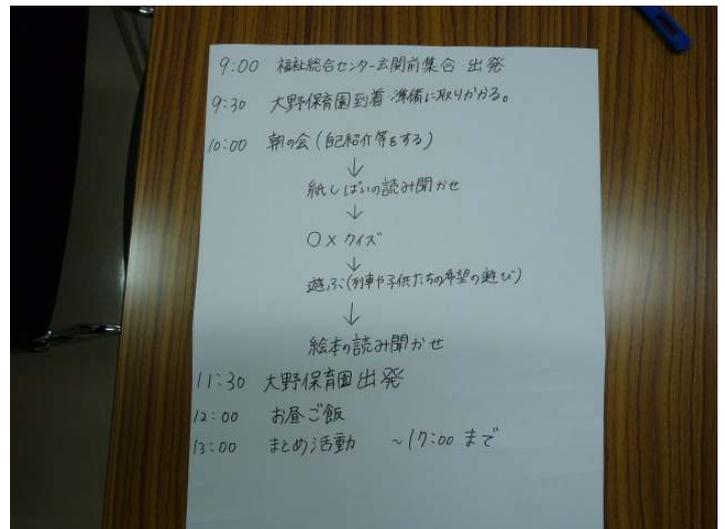
- 1 日時 平成 25 年 8 月 8 日（木） 9 時～17 時
- 2 場所 青森市総合福祉センター1 階研修室、大野保育園
- 3 出席者 チーム希望ガールズメンバー 4 名
事務局 2 名

4 開催概要

「思いやり」に関するテーマで活動をしていくグループ「チーム希望ガールズ」の 3 回目の活動内容です。

右の写真のスケジュールのとおり、今回、「チーム希望ガールズ」は、園児に本の読み聞かせと〇×クイズをするため、大野保育園を訪問してきました！

いつもにぎやかな女子中学生 4 人組で構成されている「チーム希望ガールズ」、今回も気負うことなく、保育園に向かっている車中でも普段どおりにぎやかでした♪



保育園に着くと、今回の活動にあたってご協力いただいている主任保育士の先生が出迎えてくれました。さっそく本日の打合せということで、限られた時間内での活動内容や、子ども委員の動き方の確認、本の読み聞かせのリハーサルなどを行いました。

そうこうしているうちに、ホールには園児がぞろぞろとやってきて、場の雰囲気はにぎにぎしくなってきました。一方、“ガールズ”たちは、笑顔こそあるものの、あれっ？ちょっと緊張してる？的なご様子で。。

園児の集合が終わり、先生の紹介のもと、“ガールズ”たちがホールに向かいました。

「おはようございます！」のあいさつと自己紹介をし、まずは紙芝居「ともだち大好き」の読み聞かせから始まりました。

この「ともだち大好き」は、ねこくんがきつねくとたぬきくんを釣りに誘って、釣れたお魚を一緒に食べようと思っていたところ、釣れたのは長くつとぼうしでねこくんはがっかり。。

しかし、その長くつはきつねくんが前に落とされたもので、きつねくとたぬきくんはねこくんに感謝し、自分たちが持ってきたお菓子やおにぎりをねこくんにもあげて、みんなで一緒に食べた、ともだちっていいね、という『思いやり』の気持ちがあふれるおはなしです。



園児たちは、そんなおはなしをよそ見することなく、集中して聞き入っていました。きっと、園児たちはこの「ともだち大好き」のおはなしを覚えておいてくれることでしょう。

続いて、○×クイズの時間です。この○×クイズの内容も「思いやり」に関する内容のものを仕立てました。

と、ここで緊急事態発生！！

なんと、○×クイズを書いた紙が見当たらない！忘れてきたのか！？

クイズを待ちわびている園児たちをよそ目に、そわそわする“ガールズ”たちでしたが、自分たちで考えたクイズ内容を、記憶を頼りに思い出しながらやってみることにしました。



自分たちで考えたクイズ内容を、記憶を頼りに

Q. おもちゃを貸してと言っているお友達におもちゃを貸すことは良いことですか？

A. ○

Q. お友達が並んでいる列に横入りするのは良いことですか？

A. ×

Q. お友達とケンカしたのに素直に「ごめん」と言わないのは良いことですか？

A. ×

Q. なくし物をして困っている人がいます。一緒に探してあげることは良いことですか？

A. ○



中学生にもなれば誰でもわかるような問題ですが、このことを園児たちに、わかりやすく上手に説明するのが意外にも難しい！

先生のご協力をいただきながら問題を進めていき、園児たちは正解したとき大きな声を上げて「ヤッター！」と大喜びしていました。

クイズが終わったあとに、先生が園児たちに『思いやり』に関する事なので、あとでまた考えてみましょう。」とおっしゃっていました。

ただクイズをして盛り上がり過ぎて終わり、ではなく、あくまでもテーマは「思いやり」。そこを抑えていただいて本当に感謝です。

続いて、保育園からの提案による『貨物列車』というじゃんけん遊びを園児たちと一緒に楽しんだ後、2つめの読み聞かせを行いました。

2つめのおはなし「ちいさなきいろいかさ」は、なっちゃんがお母さんに買ってもらった小さなかさに、最初はうさぎさんやりすくんなど小さな動物を入れてあげて、次に胴長のダックスくんを入れてあげようとしたら、かさからはみ出たまって、そしたら、かさがつつつつつて広がって、いっしょにかさに入ることができて。。

そうしているうちに雨は大降りになってきて、きりんさんがびしょぬれになっている。

そしたら、かさがよっしょよっしょって背高くなって、きりんさんもいっしょにかさに入ることができて。。

みんなかさに入れて、雨にぬれなくてよかったことを、なっちゃんはお母さんに教えてあげた、という小さな女の子の心温まるおはなしです。

【今回読み聞かせで使わせていただいた紙芝居と絵本は、市民図書館で貸し出ししています。】

以上で、当初の予定の活動はすべて終了なのですが、またまた保育園の提案により、子どもたちが大好きな遊び『人間いすとりゲーム』を行うことになりました。

最初は数人の“いす”があつて、その周りを園児たちが歩き回り、音楽が止まったらいすを取りに行く、というものです。

保育園児とはいえ、4歳5歳ともなると、その勢いはなかなかのもの。“いす”役になった“ガールズ”たちも、ちょっとだけおっかなびっくりのご様子でした。



最後に園児たちから、すてきな歌のプレゼントがあり、今回の読み聞かせ活動はすべて終了しました。

園児たちは、“ガールズ”1人ひとりに「ありがとうございました！」とあいさつしながら、握手したりハイタッチしたり抱っこしたりしていました。



園児たちとのふれあいも終わり、事務室に戻ったら、保育園からスイカが振舞われました。たいへん美味しくいただきました。

その後、先生の案内により、園児たちのいる教室を一回りして、園児たちにさよならのあいさつをしてから、今回お世話になった大野保育園をあとにしました。

総合福祉センターに戻ってからは、今回の読み聞かせ活動を通して、「思いやり」の気持ちを高めるための考えを話し合いながら、大きな模造紙にその内容を途中までまとめ、本日の活動を終わりました。



以上で、思いやりグループ「チーム希望ガールズ」の夏休み開催は終了しました。

なお、「思いやり」の気持ちを高めるための考えを模造紙にまとめる活動は、次回の活動時に行う予定です。

大野保育園の皆様には、大変お世話になりました。

おじゃまさせていただいた子ども委員のみなさんにとって、大変貴重な時間になり、また、良い思い出にもなりました。本当にありがとうございました。